

府省等	法務省	部局名	加古川学園・播磨学園
取組者	加古川学園・播磨学園全職員（104名）		

### 取組のポイント

「お互いのWLB力をエンパワメントし合う、誰一人取り残さないWLBの推進」をテーマに、Work Life Balance Harmony月間を設定し、全職員がWLBを推進するための自己目標を掲げ取り組んだ。各職員の取組成果を「カコハリ『わくばら』実践事例集」として冊子にまとめ、成果を共有するほか、他の職員の参考になる取組を行った職員を「WLBマイスター」に認定、定時退庁よびかけメッセンジャー等として活動している。また、超過勤務が多い職員をサポートし、個々の職員に向き合う体制も整備した。

### 取組概要

#### 【取組の背景】

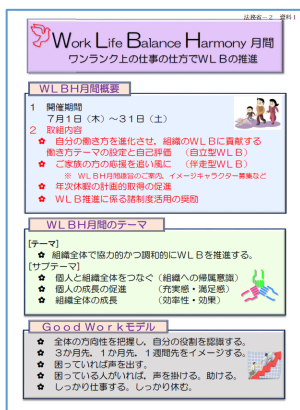
ワークライフバランスは、お互いのワークライフバランスに対する考え方を理解し、実現に向けて協力する関係が基盤になると考え、Work Life Balance Harmony月間を企画し、ワークライフバランスは誰もが幸せな生き方を目指すポジティブな施策であるとの認識の下、キャラクターデザインの募集、WLBマイスターの認定など、全員が楽しめる企画を実施することとした。

#### 【取組の内容】

Work Life Balance Harmony月間を設定し、お互いのWLB力を引き出しあえるよう各職員の目標を掲げた。また、家族の協力が得られるよう自己の目標を記した「わくばら」宣言カードを配布したほか、イメージキャラクターを募集し選定、ポスター等に活用した。期間終了後、各職員の取組成果は「カコハリ『わくばら』実践事例集」として冊子にまとめて回覧した。さらに、「モデルとなる働き方スタイル」を組織内に浸透させるため、他者の参考になる取組を行った者を「WLBマイスター」に認定、マイスターカードを授与し、定時退庁よびかけメッセンジャー等、WLB推進の諸活動に参加してもらっている。加えて、勤務時間の健全化を図るため、超過勤務が多い職員を組織的にサポートし、その職員とともに要因分析、改善措置案を一緒に考え、改善案を提示することとした。

#### 【取組の成果】

Work Life Balance Harmony月間については、参加者100名のうち約90%が目標を達成できたと評価しており、宣言効果もあり達成度は高かった。各職員からは「一人一人の考えが理解できた」、「両院（加古川学園（本院）・播磨学園（分院））が目指すワークライフバランスにふさわしいキャラクターが選ばれた」、「マイスターを手本としたい」など肯定的評価が多く寄せられた。また、超過勤務が多い職員に対するサポートについては、サポートを受けた職員の超過勤務は減少しており、目的を十分達成できている。



講 評

職員それぞれがワークライフバランスについて理解し、実現に向けて協力する関係をつくり、さらに、全員が楽しめる企画を実施することでワークライフバランスの実現に取り組んでいる点は高く評価できる。こうした取組を通して職員間のコミュニケーションも活性化されていると思われる。